

## 令和6年度第1回目黒区障害者自立支援協議会 報告事項（相談支援部会）

<b>1 活動報告及び活動を通じて得た課題</b>
<b>(1) 活動報告</b>
4-6月の活動 I. 新役員体制確認 II. 3か年（6-8年度）目標と令和6年度計画の確認 目標 1. 相談支援専門員の人材不足・人材定着の課題を改善する 2. 各利用者が抱える課題について検討を行い自立支援協議会へ提案する 3. 相談支援専門員同士で情報共有および相互に助け合う関係を作り孤立化を防ぐ 4. 相談支援を取り巻く関係機関のバックアップ体制を強化する 5. 運営方法を見直して、誰もが主体的に参加しやすい相談支援部会をめざす 今年度予定 バックアップ班と勉強会班に分かれて計画をしている 1. 報酬改定説明会/区役所との懇談会（7月） 2. 地域課題抽出の事例検討会（8月） 3. 相談支援部会のPR動画作成 →（来年度以降）合同説明会へ 4. 勉強会（12月） 5. 基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の事例報告会（10月、2月） III. 情報共有 各事業所での課題、ケースの悩みなど
<b>(2) 活動を通じて得た課題</b>
※各部会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会と共有して解決すべき課題について記載してください。 ■課題 ・児童のセルフプランが多い ・ヘルパー不足でサービスを利用できない ⇒地域課題抽出事例検討会へ提案 ・令和6年度報酬改定について⇒ 不明確な部分も多いが、各事業所大きな混乱はみられていない
<b>2 本会議で協議したい事項</b> 特になし
※本会議で協議したい事項がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

**令和6年度第1回目黒区障害者自立支援協議会  
報告事項（高齢化・グループホーム対策部会）**

1 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
<p>(令和5年度)第4回部会を2月29日に開催した。</p> <p>○テーマ:来年度の部会日程、運営方法について (自由意見)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年間4～6 回程度の開催になるかと思うがどうか。</li><li>・コロナに左右される状況もほぼ脱し、4 回だとやや少ない印象。6 回を目指したい。</li><li>・大きな負担感なく、持続可能な部会運営ができれば。</li><li>・以前のように、事例報告を中心とした内容にし、改めて各課題を深掘りしてゆきたい。</li><li>・グループホーム職員としては、事例報告会が特に必要と感じている。</li><li>・家族支援の難しさが大きくなってきていると感じる。部会で話し合いたい。</li><li>・相談支援部会にも参加しているメンバーが複数名おり、今後うまくつながって行ければ。</li><li>・事業所の利用者数が極端に少ないという課題を抱えている。知っていただきたい。</li><li>・新しく始まる「重層的支援体制整備事業」がどのようなものになるか気になっている。</li><li>・昨今「グループホームからの(更なる)地域移行」という流れも見られつつあるが、そうは言ってもやはり目黒区においてグループホーム数は足りていない。</li><li>・とにかく現状を知りたいので、部会に参加できることがありがたい。</li><li>・親の会としては、「グループホームを作ってください」と訴えるしかない。</li></ul> <p>→ 隔月で年間6回の部会開催を計画する。事例報告を中心とする。</p>
(2) 活動を通じて得た課題
<p>※各部会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会と共有して解決すべき課題について記載してください。</p> <p>家族支援の難しさが大きくなってきている。今後、相談支援部会との連携も探りたい。</p>
2 本会議で協議したい事項
<p>※本会議で協議したい事項がある場合は、その内容を具体的に記載してください</p> <p>特になし</p>

## 令和6年度第1回目黒区障害者自立支援協議会 報告事項（一般就労部会）

1 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
【昨年度の活動内容】 8月7日 第1回部会（13名参加） ・部会員自己紹介 ・本会報告 ・今年度の活動予定 ・情報提供（障害者雇用に係る制度改正） ・意見交換 11月1日 第2回部会（15名参加） ・協議会イベント実行委員の選出 ・協議会の体制等の見直しについて ・事例検討 ・意見交換 12月15日 第3回部会（15名参加） ・都立青島特別支援学校職能開発科見学 ・現地での意見交換 2月27日 第4回部会（16名参加） ・障害者職業・生活支援センター（アイーキャリア）の概要 ・意見交換（今年度の振り返りと来年度の活動について） 【今年度の活動内容】 6月24日 第1回部会開催予定 ・部会員自己紹介 ・6年度の活動計画
(2) 活動を通じて得た課題
特にありません。
2 本会議で協議したい事項
特にありません。

**令和6年度第1回目黒区障害者自立支援協議会  
報告事項（施設就労部会）**

1 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
今年度の施設就労部会はまだ開催していないが、開催予定は、会場の都合もありため以下のように計画している。  第1回 2024年7月4日（木） 16時～17時 第2回 2024年11月21日（木） 16時～17時 第3回 2025年3月7日（金） 16時～17時
(2) 活動を通じて得た課題
※各部会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会と共有して解決すべき課題について記載してください。  今のところ、特にありません。
2 本会議で協議したい事項
※本会議で協議したい事項がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

## 令和6年度第1回目黒区障害者自立支援協議会 報告事項（子ども部会）

1	活動報告及び活動を通じて得た課題
	(1) 活動報告
	<p>4月:年間活動方針／運営体制／スケジュール／役割分担などの確認</p> <p>5月:事例検討「中学生の不登校について」 不登校の現状、目黒区の状況等共有後、グループワークを実施 社会資源、課題などについて共有した。 *傍聴参加:こどもば(横山さん)／にじっ子サポーターズ(小園さん) 障害施策推進課(水野係長、渡邊さん)</p>
	(2) 活動を通じて得た課題
	<p>※各部会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会と共有して解決すべき課題について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の支援は、時間がかかること、簡単ではないこと、居場所の全容を網羅できないといった現状がある。支援の仕方が簡単ではない。支援者がいても片手間の対応ができず負担が大きい。</li> <li>・どのような子にも「心理的安全性」が確保できる場が必要。そのような社会資源の現状の把握ができていない。費用の課題もある。</li> <li>・港区の「中高生プラザ」、世田谷区の「不登校特例校」のような社会資源が目黒区にはない。</li> <li>・不登校のお子さん、保護者の支援について、縦横の連携をどのように整えていくか。</li> </ul>
2	本会議で協議したい事項
	<p>※本会議で協議したい事項がある場合は、その内容を具体的に記載してください。</p> <p>福祉と教育の連携について具体的な取り組みについて →今回は不登校児の事例を通して見えてきた課題に対する提案 文部科学省の『生徒指導提要』の、「不登校に関する基本指針」や「不登校児童生徒支援としての困難課題対応的生徒指導」に示されているように、実際に目黒区内で実現していくためには具体的に何を取り組むべきかを協議したい。 →6月の部会で、元文部科学省の不登校支援に携わってきた方をお招きして、具体的な取り組み方を学ぶ予定。第2回目の本会への報告にて協議をお願いしたい。</p>

**令和6年度第1回目黒区障害者自立支援協議会  
報告事項（意思疎通支援部会）**

1 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
今年度の部会開催に向けて、各部会員（当事者団体）へ意向確認中。 各当事者団体とも会員の減少・高齢化等課題を抱え、自団体の活動維持に注力している状況であり、部会の開催方法も含め模索している。
(2) 活動を通じて得た課題
※各部会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会と共有して解決すべき課題について記載してください。  高齢化、重度化、複雑化によって当事者団体の機能維持と持続可能な横のつながりの確保。
2 本会議で協議したい事項
※本会議で協議したい事項がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

## 令和6年度第1回目黒区障害者自立支援協議会 報告事項（防災部会）

1 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
令和6年3月15日 能登半島地震での活動報告（ボランティア派遣） 三陸沖地震復興支援 災害時トイレ BENKING 学習会 令和5年度活動の振り返りと来年度活動について
令和6年度においては現在活動なし 6月24日18:30コア会議にて年間計画作成予定
(2) 活動を通じて得た課題
○BCP（事業継続計画）策定の義務 計画を実行できるよう普段からの周知・研修・地域及他施設等との連携の仕組みの必要性 ○計画策定後は行政防災計画との定期的なすり合わせと見直しの重要性 ○活動メンバーの増員（公的立場からの情報収集と意見交換）
2 本会議で協議したい事項
○目黒区が認識している要配慮者防災計画において障害分野での課題（情報共有） 各サービス事業所の情報把握（メールや伝達方法）＝障害サービス連絡会の設立等
○5月末に郵送された要配慮者等災害協定について 以前より本部会や本会で福祉避難所やサービス事業所の協定話をしていて 難しいとの回答であったと認識しておりますが、令和6年5月末に 区内サービス事業所等災害協定のご案内が送付されております。 冒頭に重点課題を記載している中で、防災委部会や自立支援協議会に事前に情報提供がなされるものと考えていました。今後、このような進め方になるのか確認したいです。